

県内の景気動向

概況（2025 年 8 月）

景気は、緩やかに拡大している（24 カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

建設関連は、資材価格の高止まりや人手不足により回復に一服感が出ているものの、消費関連は、節約志向が継続しつつも旺盛な観光需要を背景に回復の動きが強まっていること、観光関連は、国内外ともに旅行需要が好調に推移し、拡大の動きが強まっていることなどから、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、旺盛な観光需要にけん引され底堅い推移が見込まれることから、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、2 カ月連続で前年を上回った。引き続き免税売上が好調に推移したことなどが売上増加に寄与した。スーパー売上高は、旧盆時期の相違による影響が色濃く、既存店は 2 カ月連続、全店ベースは 39 カ月ぶりに前年を下回った。新車販売台数は、夏の観光シーズンとなりレンタカー登録台数は増加したものの、自家用車が減少したことなどから 9 カ月ぶりに前年を下回った。家電大型専門店販売額（7 月）は、2 カ月連続で前年を下回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、旺盛な観光需要を背景に底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、市町村は減少したが、国、県、独立行政法人等その他は増加したことから 4 カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積（7 月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから 3 カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（7 月）は、分譲は増加したが、持家、貸家、給与住宅は減少したことから 3 カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから 6 カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメント、生コンともに 2 カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は 4 カ月ぶりに前年を上回り、木材売上高は 2 カ月ぶりに前年を上回った。

先行きは、大型工事の受注に一服感がみられ、資材価格の高止まりや人手不足、工期の長期化などを背景に、回復の動きが鈍化するものとみられる。

観光関連

入域観光客数は、45 カ月連続で前年を上回った。国内客は 14 カ月連続で増加し、外国客は 35 カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は 17 カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入はともに 15 カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は 42 カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は 2 カ月連続で減少し、売上高は 3 カ月ぶりに前年を下回った。一部では大阪・関西万博に流れる動きもみられたが、堅調な国内観光需要や外国客の増加により、引き続き好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、秋の行楽シーズンに向けて国内客の増加も予想されることから、拡大の動きが強まるとみられる。

雇用関連

新規求人数（7月）は、前年同月比 4.5%減となり 3 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されないもの）、宿泊業・飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率（7月、季調値）は 1.12 倍で、前月と同水準となった。完全失業率（季調値）は 2.9%と、前月から 0.1 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 3.0%の上昇となり、48 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.2%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 4.1%の上昇となった。

倒産件数は 2 件で前年同月から 2 件減少した。負債総額は 2 億円で、前年同月比 0.5%減となった。

りゅうぎん調査（2025 年 8 月）

増減率(%)

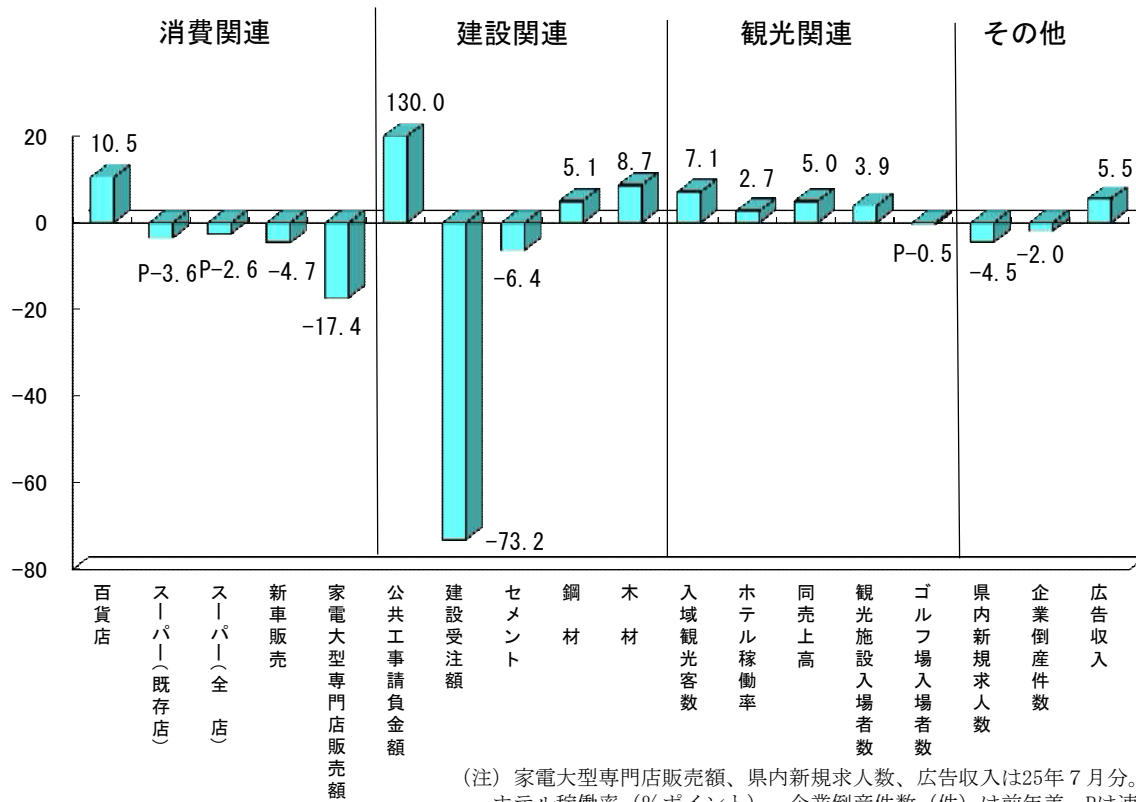
	前年同月比	前年同期比 (2025.5－2025.7)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	10.5	3.3
(2) スーパー(既存店)(金額)	P ▲ 3.6	P ▲ 0.1
(3) スーパー(全店)(金額)	P ▲ 2.6	P 0.9
(4) 新車販売(台数)	▲ 4.7	8.0
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(7月) ▲ 17.4	(5-7月) ▲ 7.8
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	130.0	19.8
(2) 建築着工床面積(m ²)	(7月) ▲ 19.2	(5-7月) ▲ 31.5
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(7月) ▲ 18.2	(5-7月) ▲ 32.7
(4) 建設受注額(金額)	▲ 73.2	▲ 56.7
(5) セメント(トン数)	▲ 6.4	▲ 2.8
(6) 生コン(m ³)	▲ 7.8	▲ 4.3
(7) 鋼材(金額)	5.1	▲ 7.7
(8) 木材(金額)	8.7	4.1
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	7.1	7.3
うち外国客数(人数)	24.1	23.3
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 2.7	(前年同期差) 2.3
	(実数) 72.3	(実数) 68.2
(3) "売上高(金額)	5.0	2.7
(4) 観光施設入場者数(人数)	3.9	7.9
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	P ▲ 0.5	P 1.3
(6) "売上高(金額)	P ▲ 0.1	P 5.8
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(7月) ▲ 4.5	(5-7月) ▲ 5.4
(2) 有効求人倍率(季調値)	(7月) 1.12	(5-7月) 1.11
(3) 消費者物価指数(総合)	3.0	3.4
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 2	(前年同期差) 0
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(7月) 5.5	(5-7月) 2.6

(注 1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

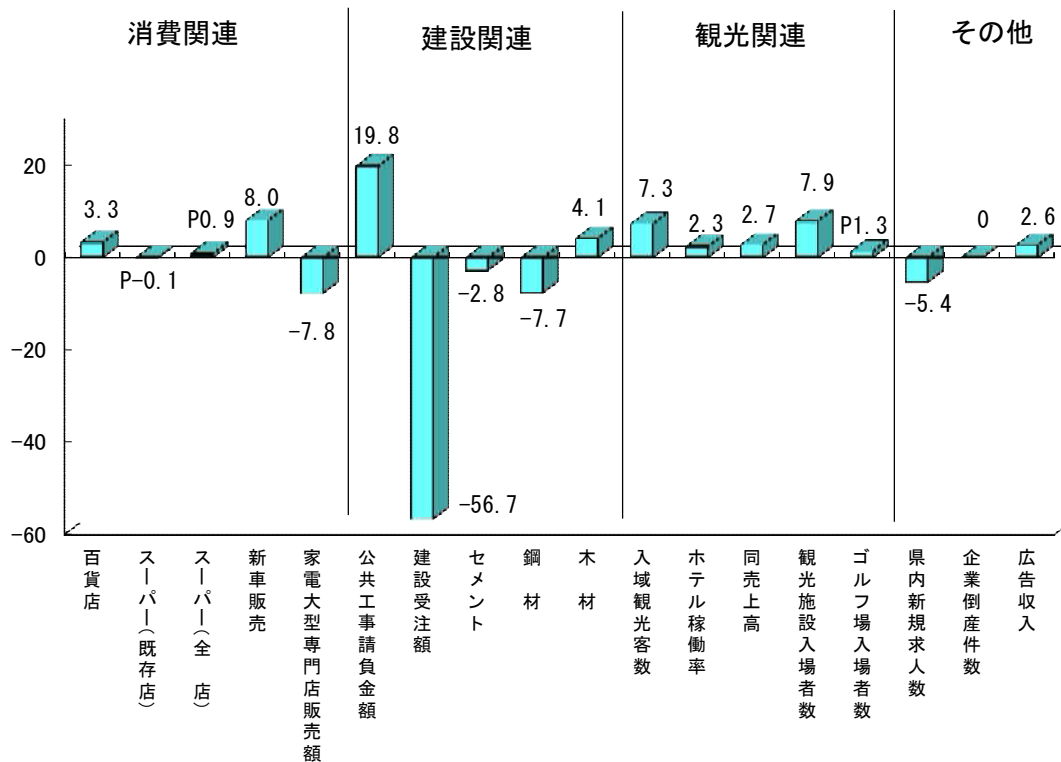
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注 2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2025年8月)

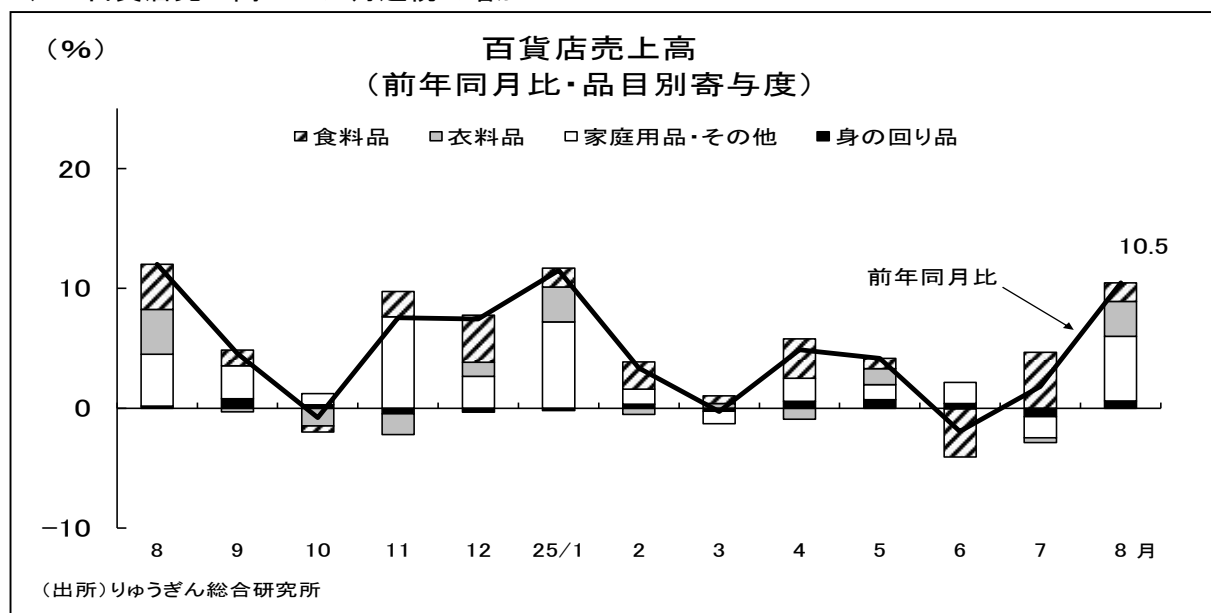


項目別グラフ(3カ月、2025年6月～2025年8月)



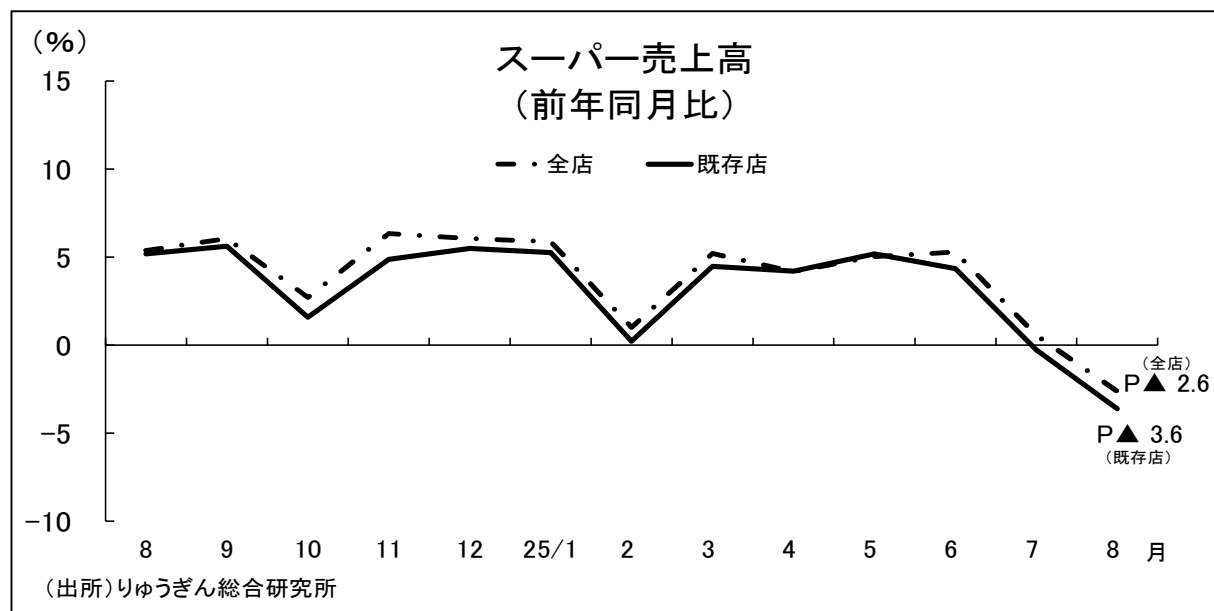
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月連続で増加



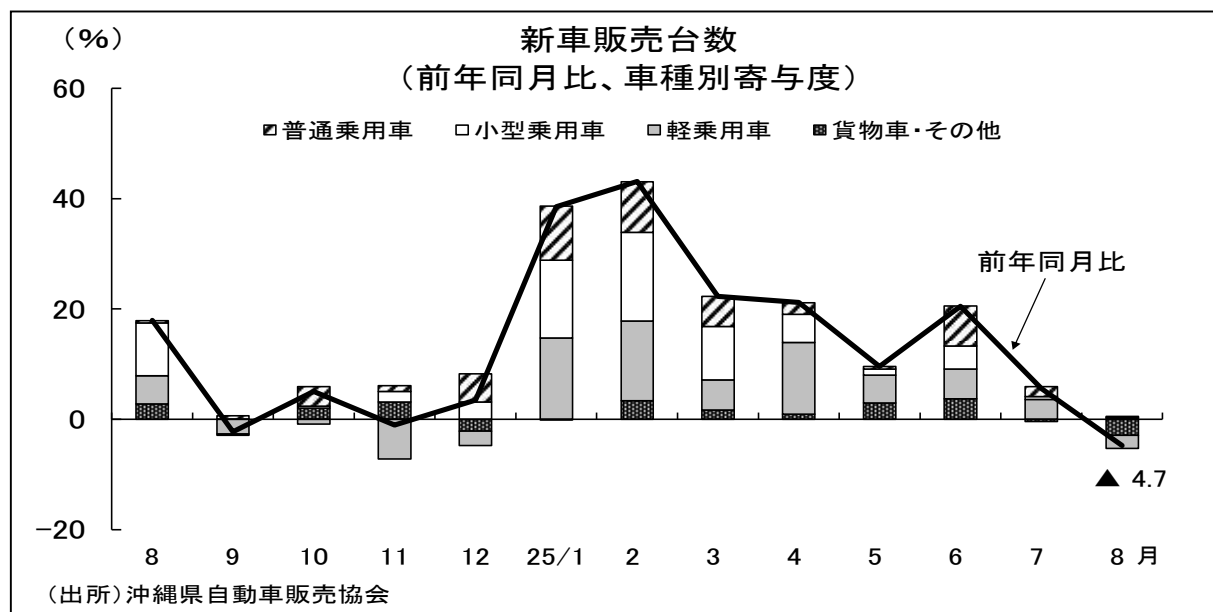
- ・百貨店売上高は、前年同月比 10.5%増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- ・引き続き免税売上が好調に推移したほか、旧盆時期の相違に伴うお中元ギフトセンター展開期間の相違（前年：～8/13、今年：～8/31）が売上増加に寄与した。
- ・品目別にみると、食料品が同 3.8%増、衣料品が同 11.2%増、家庭用品・その他が同 19.1%増、身の回り品が同 12.5%増となった。

(2) スーパー売上高：既存店は 2 カ月連続で減少、全店は 39 カ月ぶりに減少



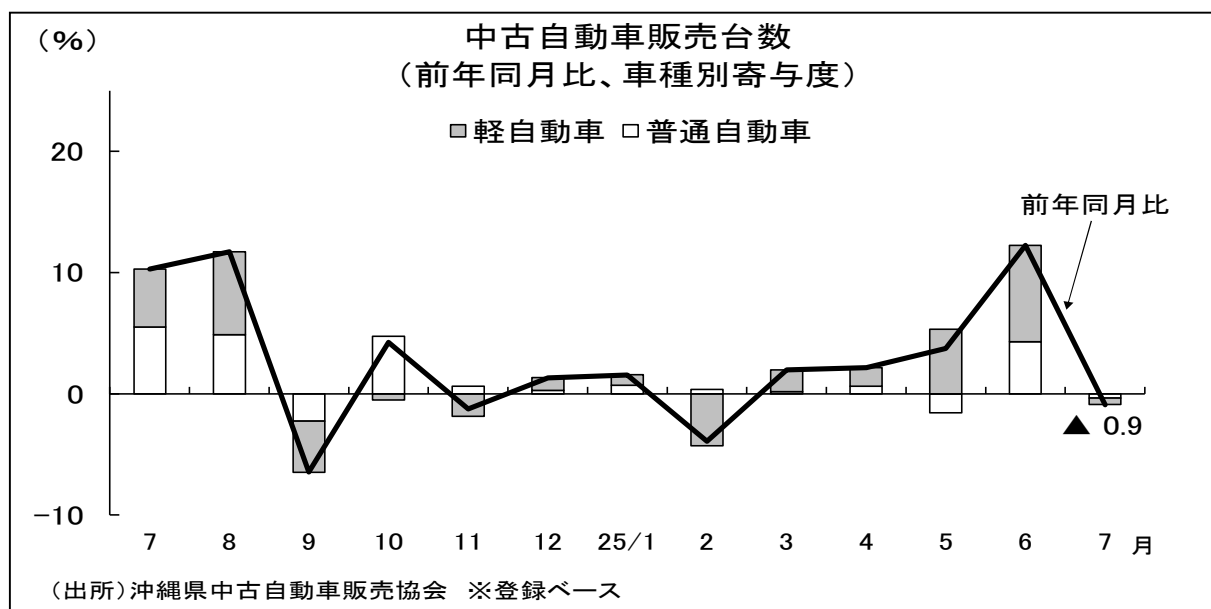
- ・スーパー売上高（速報値）は、既存店ベースは前年同月比 3.6%減と 2 カ月連続で前年を下回った。
- ・夏休みシーズンで観光需要が高く県産土産品や季節商材などが好調となったものの、旧盆時期の相違（前年：8月、今年：9月）による影響が色濃く、食料品は前年同月比 4.2%減となった。衣料品は同 5.2%増、住居関連は同 5.8%減となった。
- ・全店ベースは同 2.6%減と 39 カ月ぶりに前年を下回った。

(3) 新車販売台数：9カ月ぶりに減少



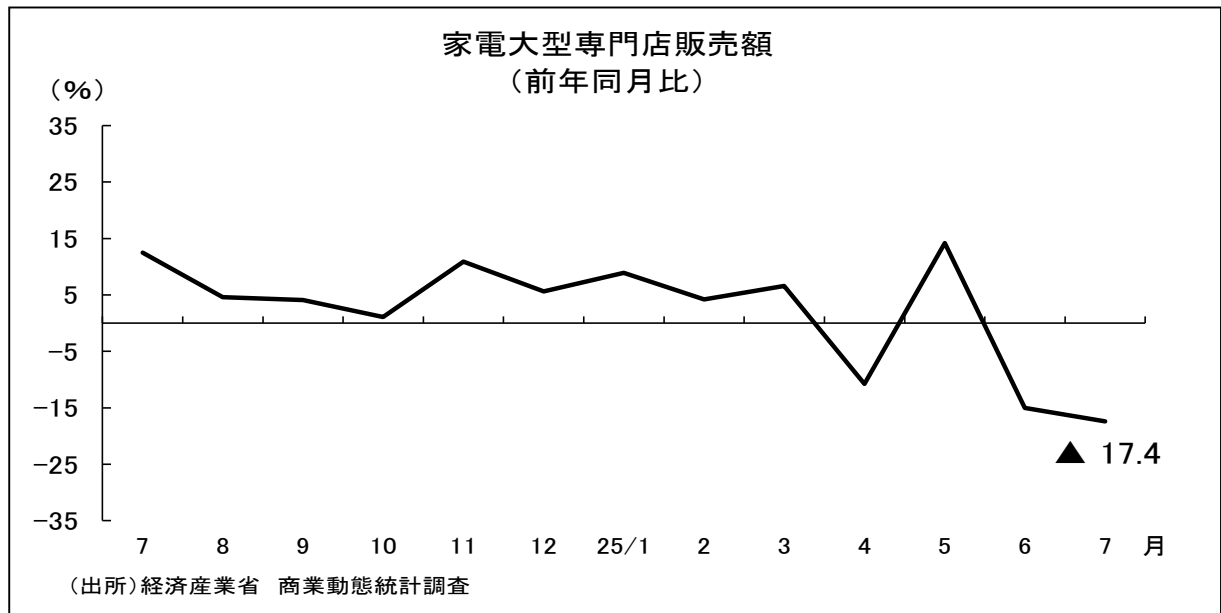
- ・ 新車販売台数は、3,229 台で前年同月比 4.7%減と 9 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 夏の観光シーズンとなりレンタカー登録台数は増加したものの、自家用車が減少したことなどが全体を押し下げた。
- ・ 車種別にみると、普通自動車（登録車）は 1,643 台（前年同月比 1.6%減）で、うち普通乗用車は 680 台（同 1.0%増）、小型乗用車は 779 台（同 1.4%増）であった。軽自動車（届出車）は 1,586 台（同 7.8%減）で、うち軽乗用車は 1,268 台（同 6.0%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（再掲、登録ベース）：5カ月ぶりに減少



- ・ 中古自動車販売台数（7月、普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、2万 912 台で前年同月比 0.9%減と 5 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が 8,621 台（前年同月比 0.9%減）、軽自動車が 1万 2,291 台（同 0.9%減）となった。

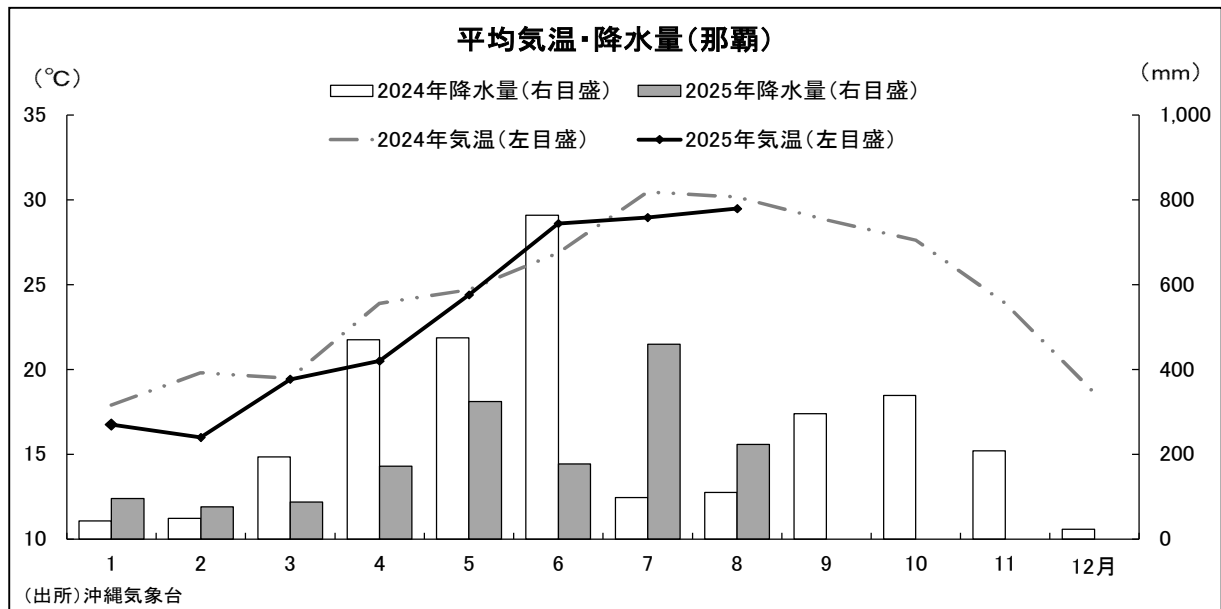
(5) 家電大型専門店販売額：2カ月連続で減少



- ・ 家電大型専門店販売額（7月）は、前年同月比 17.4%減と 2 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 前年同月に実施されていた県による支援策「省エネ家電買い替え応援キャンペーン」（購入・設置対象期間：2024 年 6 月～2025 年 1 月末）の反動減がみられたほか、降雨量が多く平均気温が低く推移したことなどから、エアコンなどの季節商材が鈍化した。

(参考)

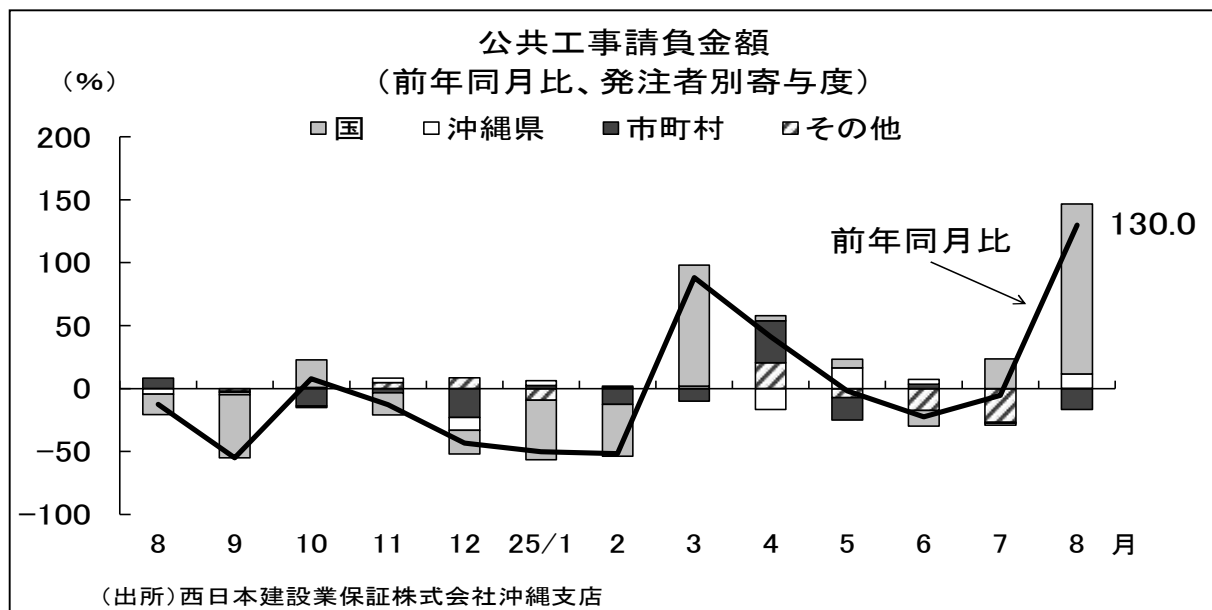
◇ 気象：平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 29.5℃で前年同月 (30.2℃) より低く、降水量は 223.5mmで前年同月 (110.0mm) より多かった。
- ・ 沖縄地方は、台風第 11 号や熱帯低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日があり大雨となった所もあったが、月を通して晴れた日が多かった。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量は平年並み、日照時間は平年よりかなり多かった。

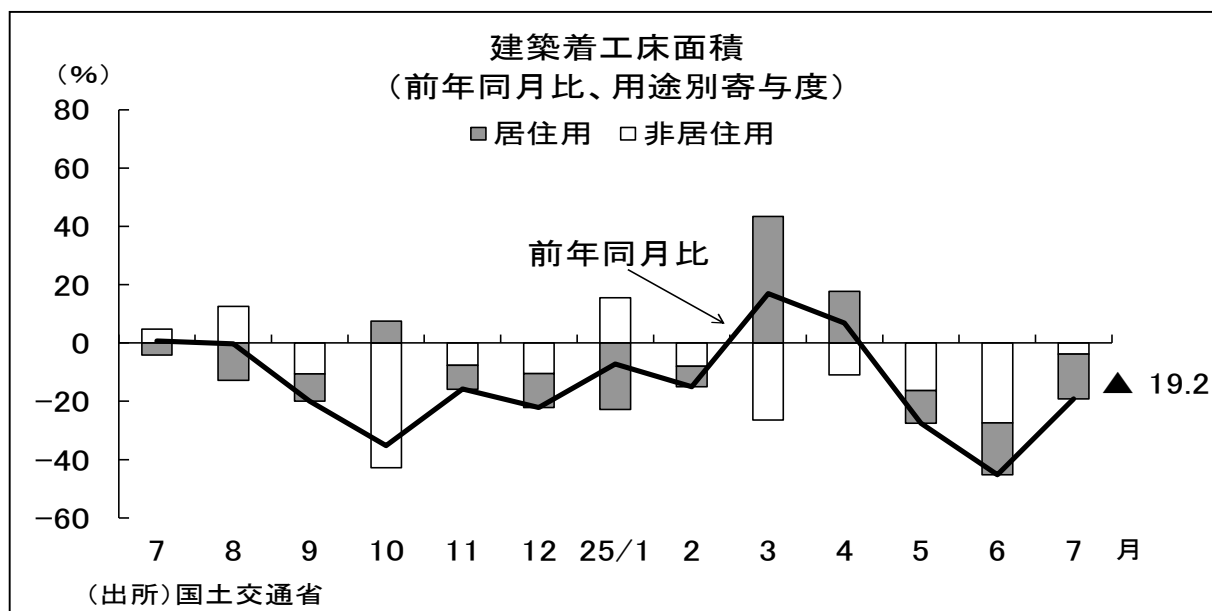
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：4カ月ぶりに増加



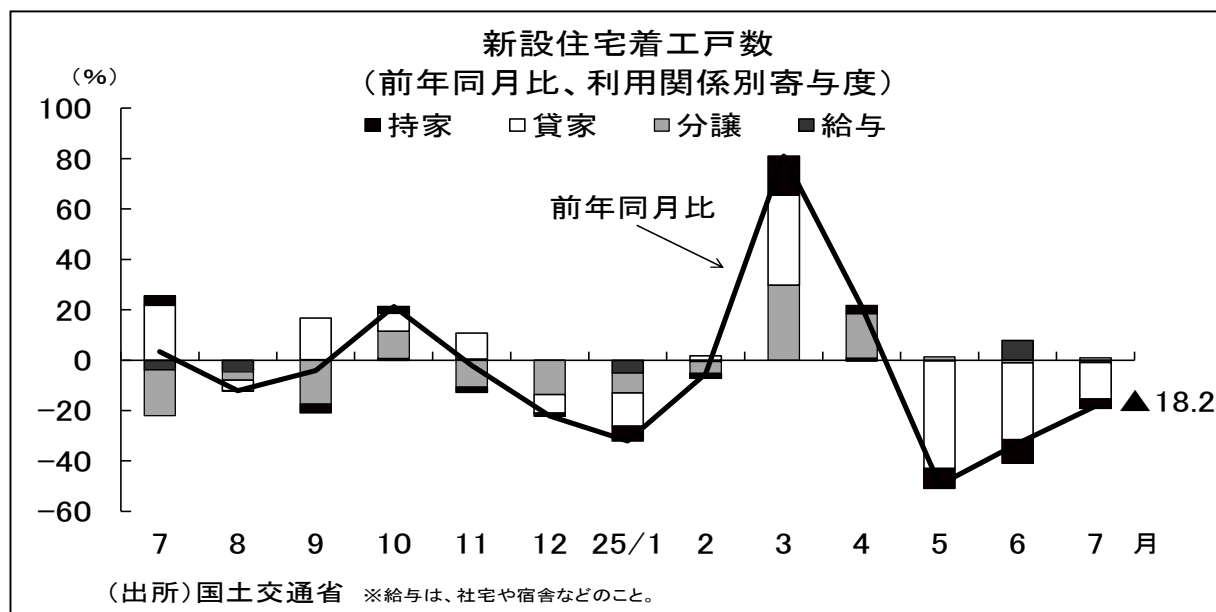
- 公共工事請負金額は、542 億 59 百万円で前年同月比 130.0%増となり、4カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、国は同 637.1%増、県は同 53.0%増、独立行政法人等・その他は同 4.5%増となり、市町村は同 31.4%減となった。

(2) 建築着工床面積：3カ月連続で減少



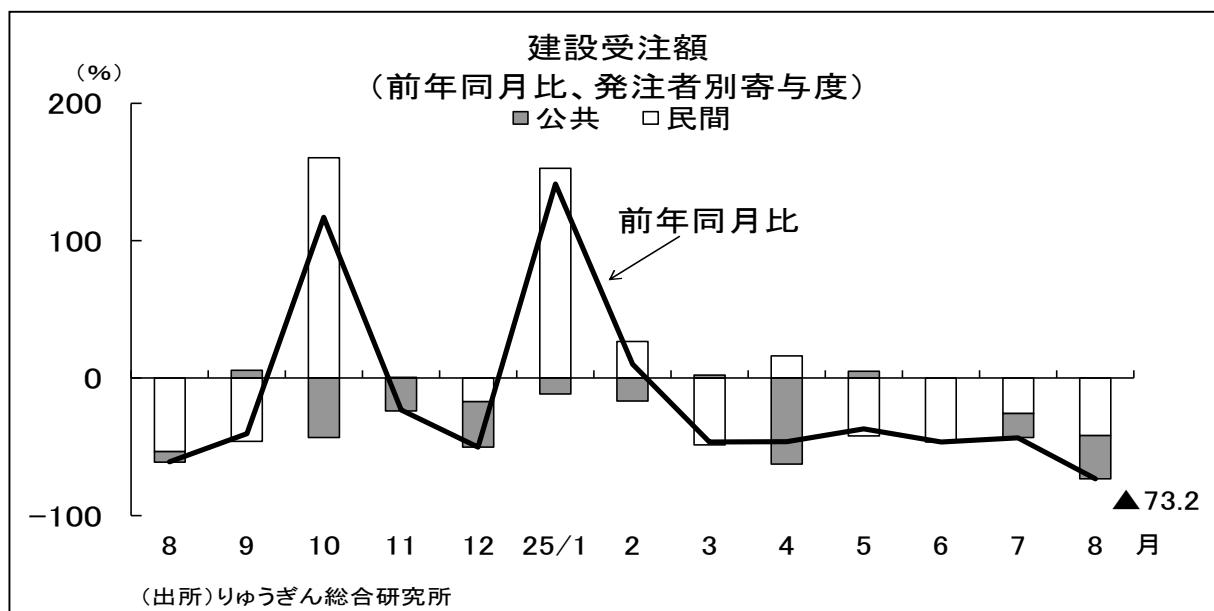
- 建築着工床面積（7月）は8万 190 m²で前年同月比 19.2%減と3カ月連続で前年を下回った。居住用は同 21.2%減となり、非居住用は同 13.8%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、飲食店・宿泊業用などが増加し、卸売・小売業用、医療・福祉用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：3カ月連続で減少



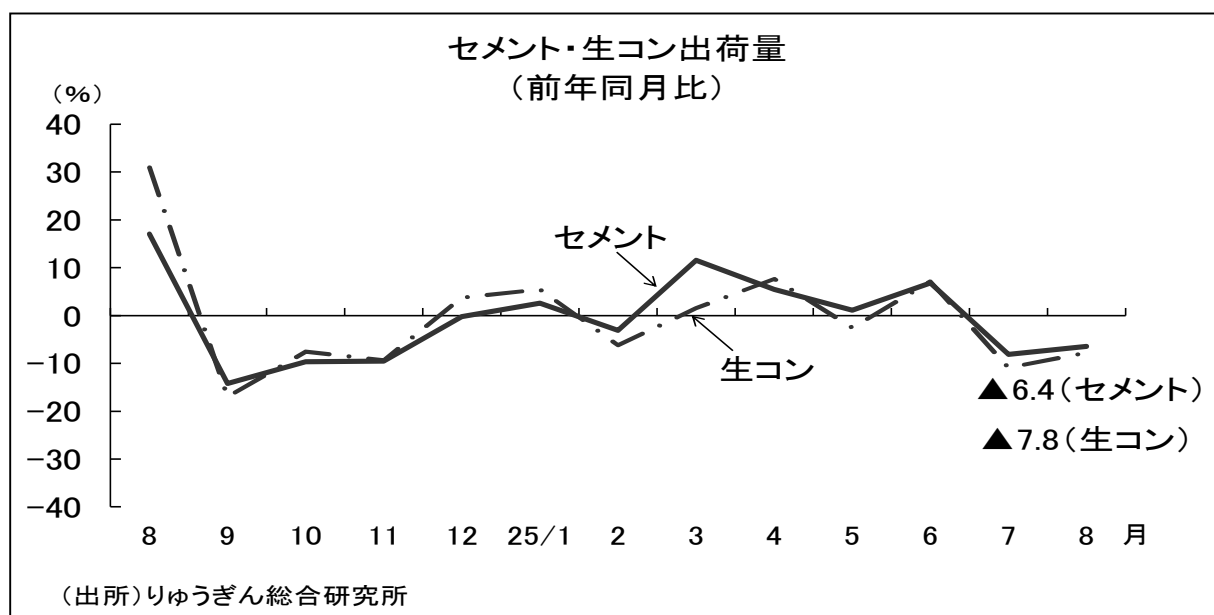
- ・ 新設住宅着工戸数（7月）は781戸で前年同月比18.2%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、分譲（170戸）が同5.6%増となり、持家（153戸）が同19.0%減、貸家（453戸）が同23.4%減、給与住宅（5戸）が同64.3%減となった。

(4) 建設受注額：6カ月連続で減少



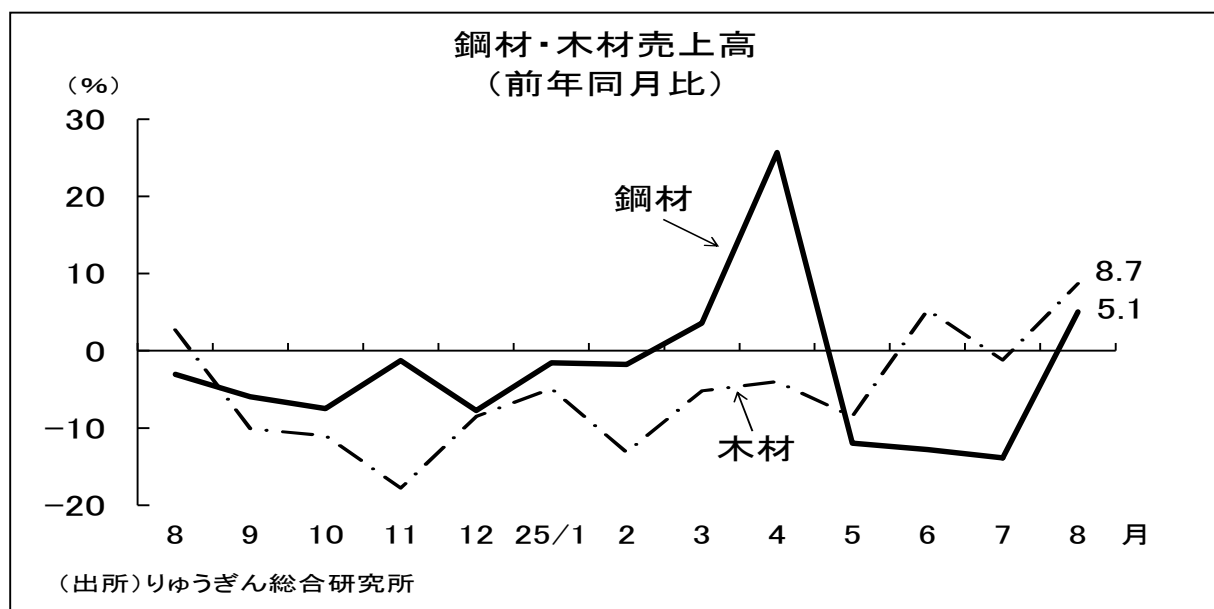
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比73.2%減と6カ月連続で前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同73.0%減と3カ月連続で減少し、民間工事は同73.3%減と4カ月連続で減少した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンともに2カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は5万5,843トンとなり、前年同月比6.4%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は9万3,786 m³で同7.8%減と2カ月連続で前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向けなどが増加し、学校関連向け、海事工事向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向けなどが増加し、医療関連向け、社屋関連向けなどが減少した。

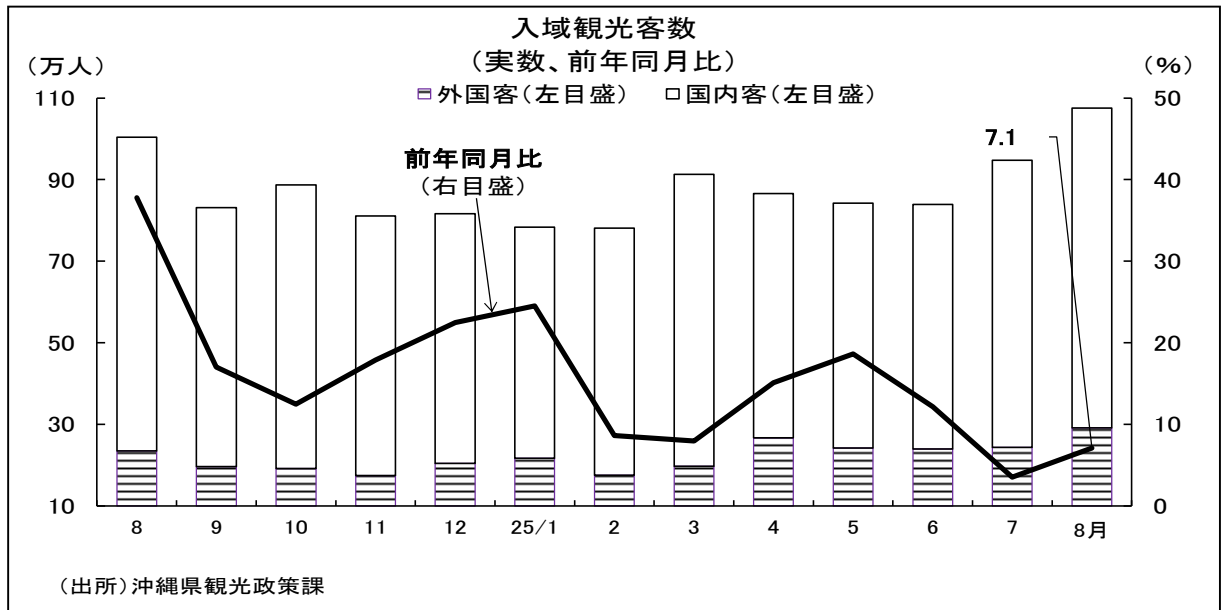
(6) 鋼材・木材：鋼材は4カ月ぶりに増加、木材は2カ月ぶりに増加



- ・ 鋼材売上高は、出荷量が増加したことなどから前年同月比5.1%増と4カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、販売価格が上昇したことなどから同8.7%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

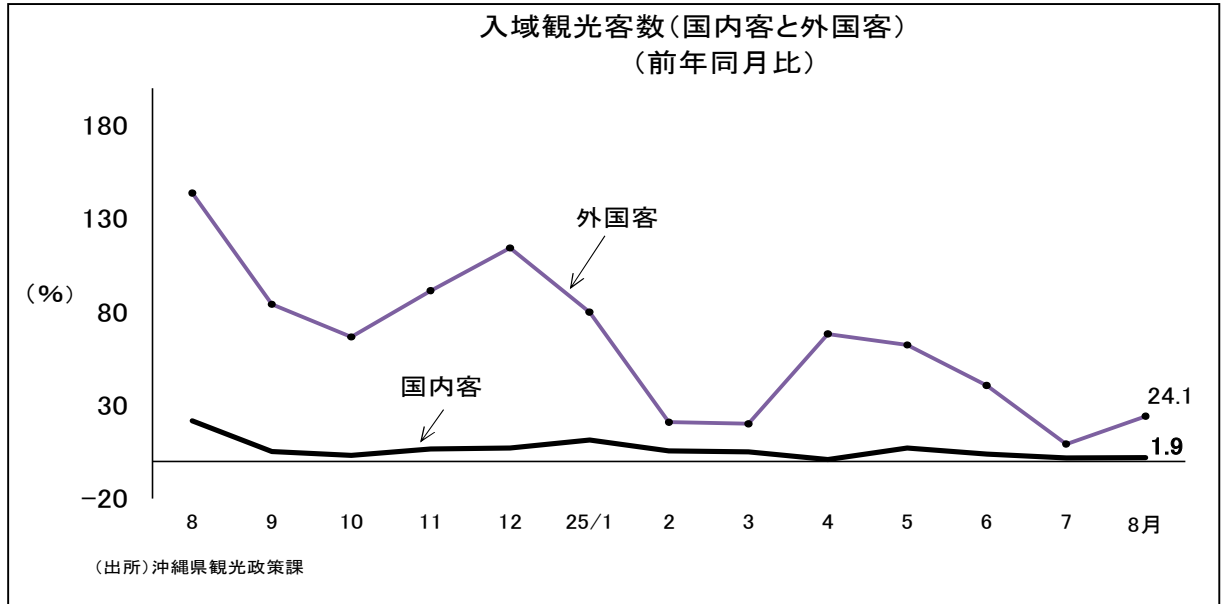
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：45 カ月連続で増加



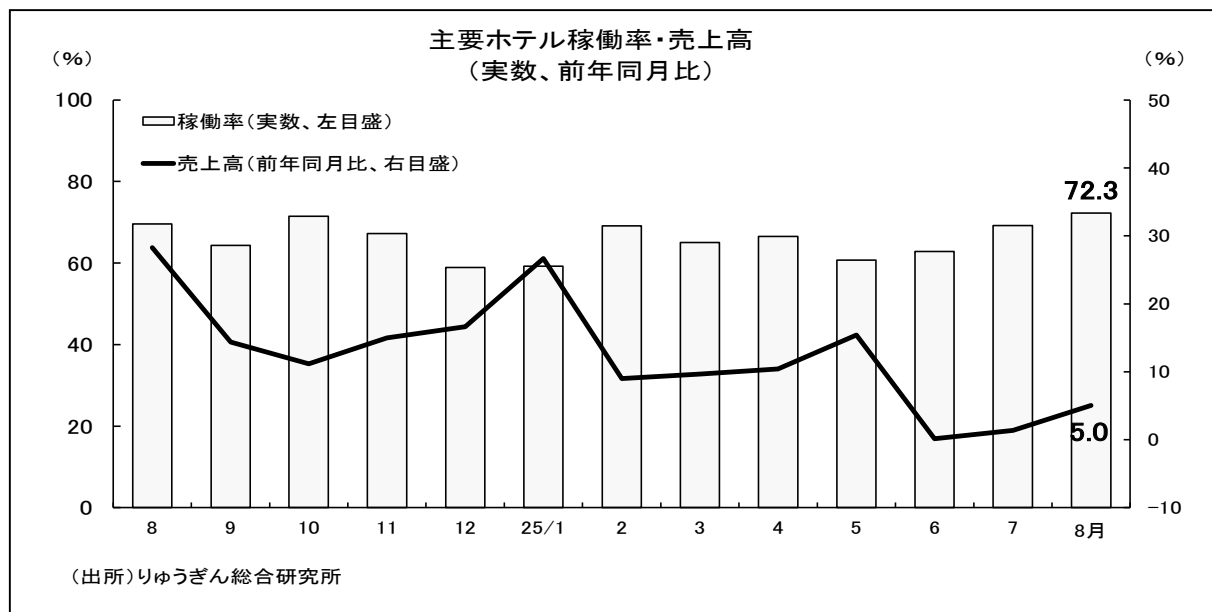
- 入域観光客数は、107 万 5,000 人（前年同月比 7.1%増）となり、45 カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は 98 万 2,600 人（同 9.1%増）となり 45 カ月連続で前年を上回った。海路は 9 万 2,400 人（同 10.6%減）となり 2 カ月連続で前年を下回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は 14 カ月連続で増加、外国客は 35 カ月連続で増加



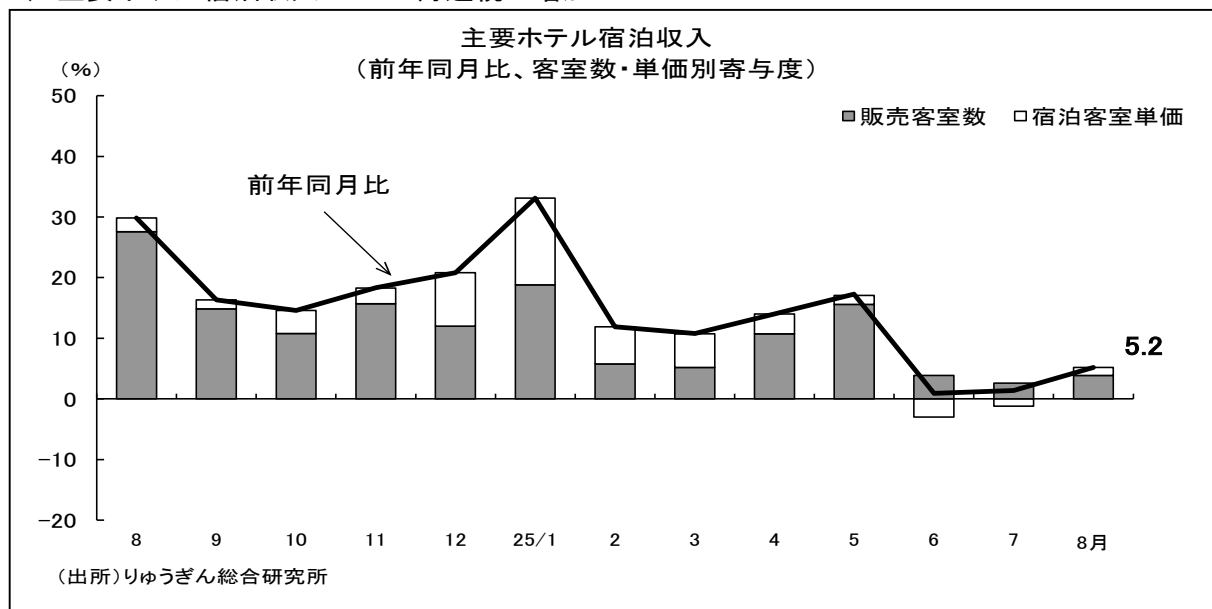
- 国内客は、78 万 3,400 人（前年同月比 1.9%増）となり、14 カ月連続で前年を上回った。外国客は 29 万 1,600 人（同 24.1%増）となり、35 カ月連続で増加した。
- 台風による大きな影響もなく、航空会社の増便などにより好調な推移となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は17カ月連続で上昇、売上高は15カ月連続で増加



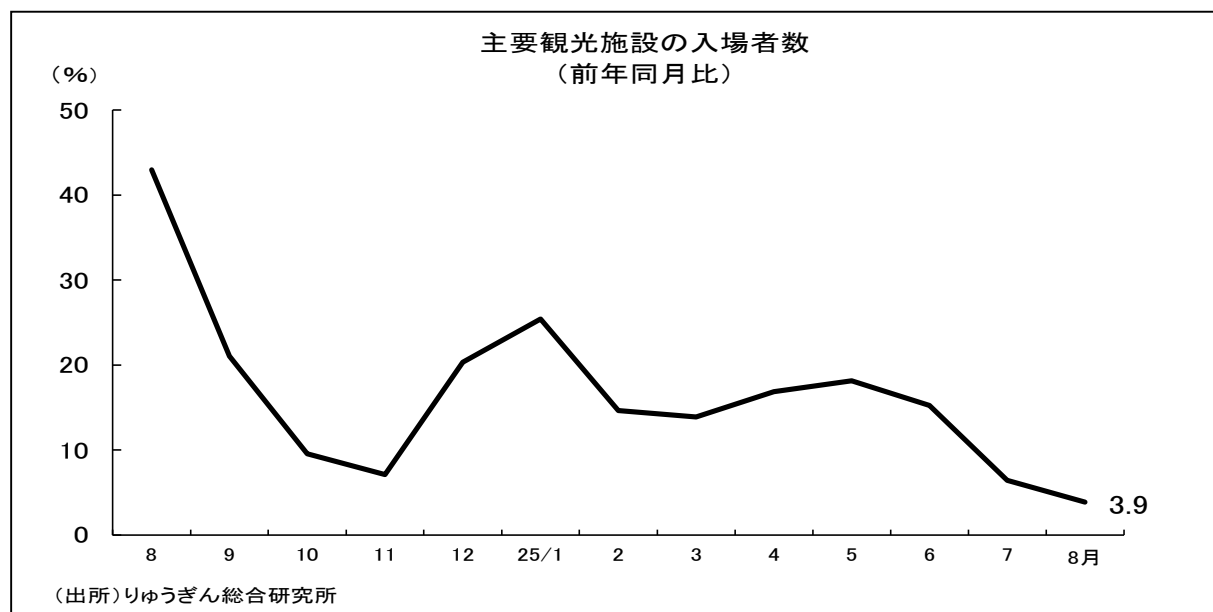
- ・ 主要ホテルの客室稼働率は72.3%と前年同月差2.7%ポイント上昇し17カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比5.0%増となり、15カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は75.6%と同2.9%ポイント上昇し、20カ月連続で前年を上回り、売上高は同13.5%増と21カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルの客室稼働率は71.1%と同2.6%ポイント上昇し、17カ月連続で前年を上回り、売上高は同4.1%増と2カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：15カ月連続で増加



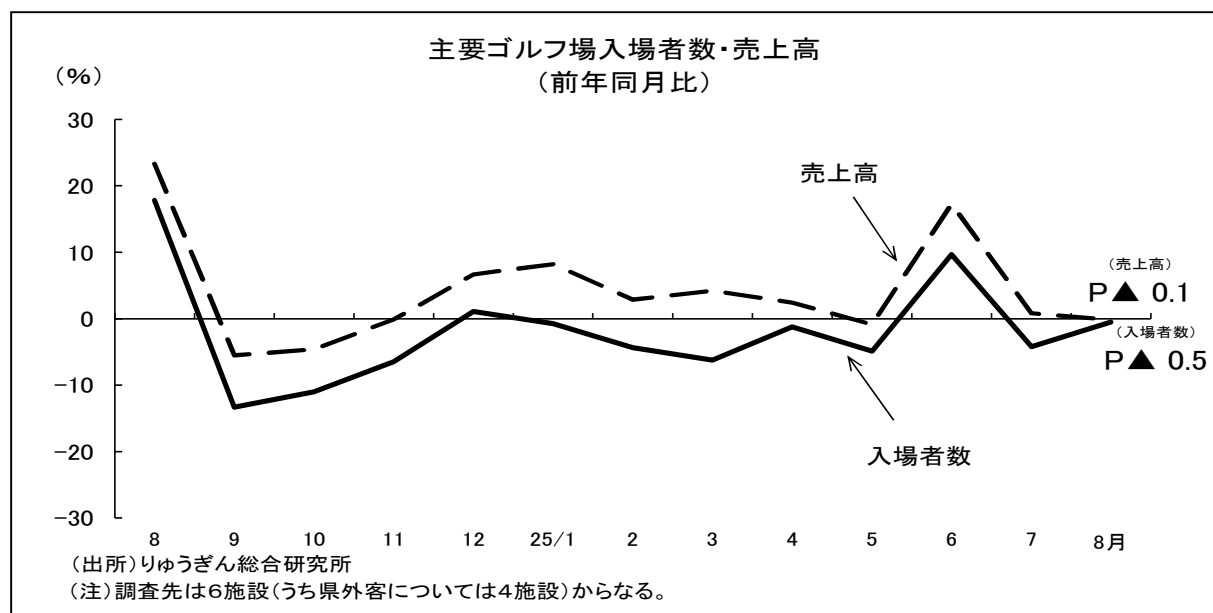
- ・ 主要ホテルの売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）も上昇し、前年同月比5.2%増と15カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同18.7%増となり20カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルは、販売客室数が増加、宿泊単価は低下し、同3.8%増となり3カ月ぶりに前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：42 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 3.9%増と 42 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 個人や一般団体旅行等が好調に推移した。

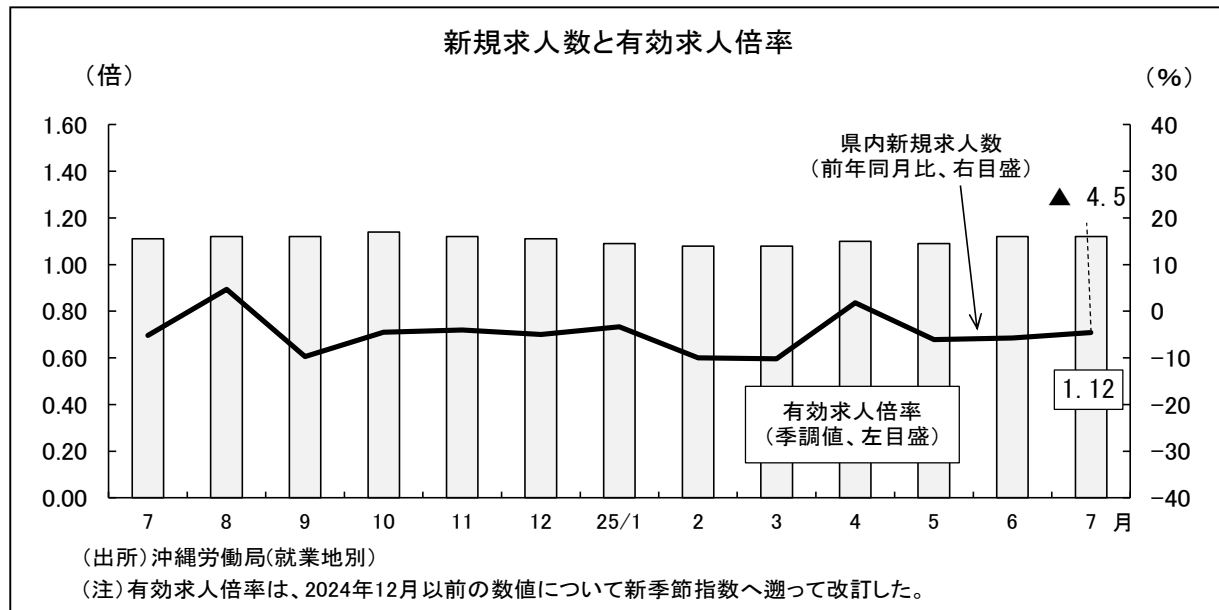
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は2 カ月連続で減少、売上高は3 カ月ぶりに減少



- ・ 主要ゴルフ場（速報値）の入場者数は、前年同月比 0.5%減と 2 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 県内客は 2 カ月連続で前年を下回り、県外客は 6 カ月連続で前年を上回った。売上高は同 0.1% 減と 3 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 単価は上昇したものの県内客の減少をカバーできず、売上は減少した。

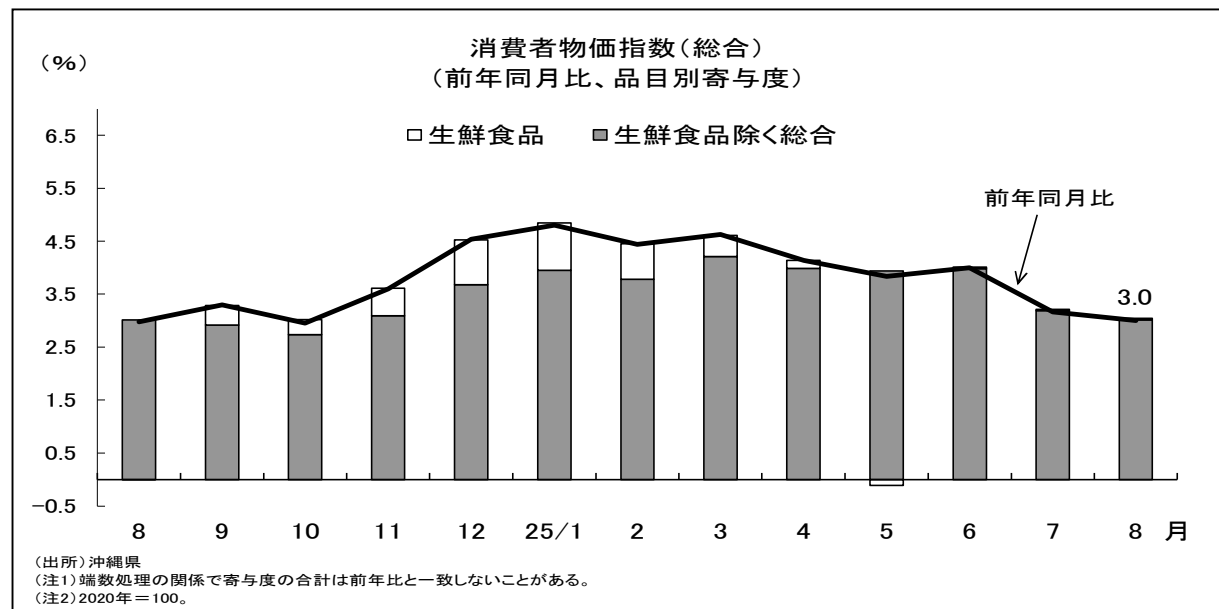
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は同水準



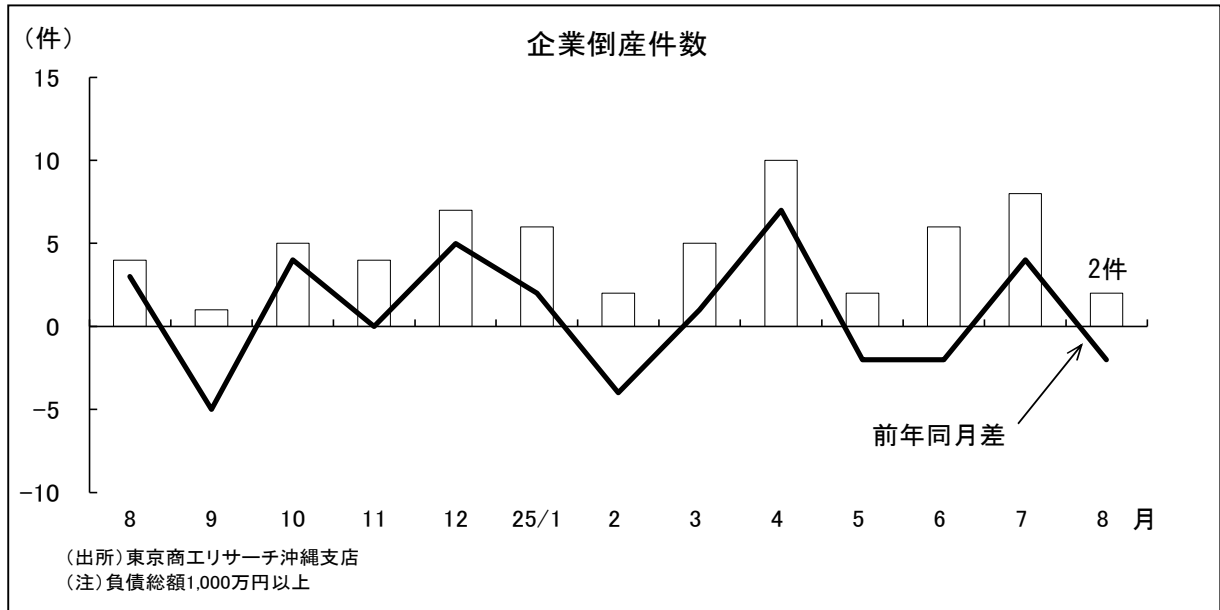
- 新規求人数（7月）は、前年同月比 4.5%減となり 3 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されないもの）、宿泊業・飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率（7月、季調値）は 1.12 倍で、前月と同水準となった。
- 労働力人口（7月）は 77 万 8,000 人で同 0.8%減となり、就業者数は 75 万 3,000 人で同 0.5%減となった。完全失業者数は 2 万 4,000 人で同 11.1%減となり、完全失業率（7月、季調値）は 2.9%と、前月から 0.1 ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数：48 カ月連続で上昇



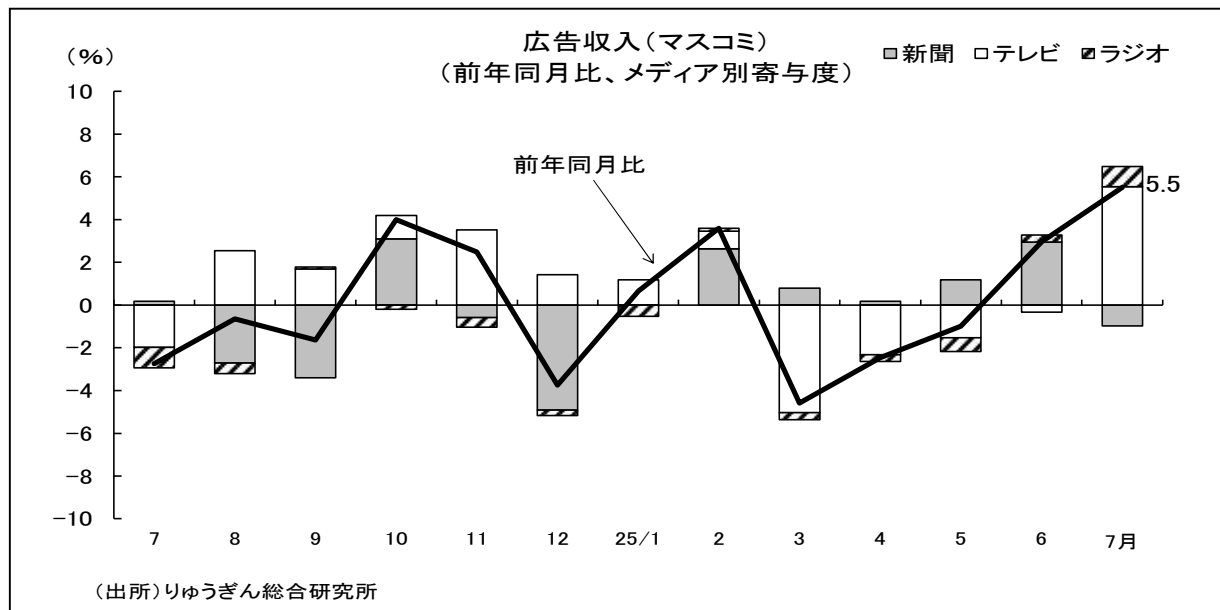
- 消費者物価指数は、前年同月比 3.0%の上昇となり、48 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.2%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 4.1%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、交通・通信などで上昇し、光熱・水道などで下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- ・ 倒産件数は2件で前年同月から2件減少した。業種別では、建設業が2件となった。
- ・ 負債総額は2億円で、前年同月比0.5%減となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：2カ月連続で上昇



- ・ 広告収入（マスコミ：7月）は、前年同月比5.5%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 昨年は無かったテレビでのプロスポーツ中継への広告需要があり、前年を上回った。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2024	6.0	4.9	5.4	10.2	▲ 9.3	1.5	405,602	▲ 4.7	1,206	▲ 9.8
2024 7	0.7	2.5	2.9	12.5	▲ 2.5	10.3	45,309	2.2	99	0.7
8	12.0	5.2	5.4	4.6	17.9	11.7	23,591	▲ 12.5	96	▲ 0.3
9	4.6	5.6	6.1	4.1	▲ 2.2	▲ 6.5	33,001	▲ 55.1	86	▲ 19.9
10	▲ 0.8	1.6	2.7	1.1	5.1	4.2	24,622	7.7	94	▲ 35.3
11	7.5	4.9	6.3	10.9	▲ 1.0	▲ 1.2	26,680	▲ 12.9	75	▲ 15.8
12	7.4	5.5	6.1	5.6	3.5	1.3	10,062	▲ 43.5	108	▲ 22.1
2025 1	11.5	5.3	6.1	8.9	38.5	1.6	20,977	▲ 50.2	72	▲ 7.2
2	3.4	0.2	1.0	4.2	43.1	▲ 3.9	26,062	▲ 51.7	64	▲ 15.0
3	▲ 0.3	4.4	5.1	6.6	22.3	2.0	141,950	88.1	121	17.0
4	4.9	4.2	4.1	▲ 10.8	21.2	2.1	20,078	41.1	116	6.9
5	4.1	P5.2	P5.0	14.2	9.6	3.7	21,968	▲ 2.0	109	▲ 27.5
6	▲ 1.9	P4.3	P5.3	▲ 15.0	20.5	12.2	26,348	▲ 22.7	73	▲ 45.2
7	1.8	P▲0.3	P0.6	▲ 17.4	5.6	▲ 0.9	42,763	▲ 5.6	80	▲ 19.2
8	10.5	P▲3.6	P▲2.6	—	▲ 4.7	—	54,259	130.0	—	—
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	—	—	—
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	14.6	▲ 2.5	—	—	—
2024	9,703	▲ 4.7	▲ 10.4	▲ 4.1	▲ 2.4	0.7	▲ 0.1	—	—	—
2024 7	955	3.4	8.6	▲ 9.0	3.3	8.1	10.5	277.0	▲ 14.3	▲ 4.8
8	744	▲ 12.2	▲ 61.0	17.0	31.0	▲ 3.1	2.7	300.1	▲ 3.7	▲ 6.0
9	810	▲ 4.1	▲ 40.4	▲ 14.2	▲ 17.0	▲ 5.9	▲ 10.1	305.2	▲ 3.4	▲ 7.1
10	906	21.3	117.1	▲ 9.7	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 11.0	299.2	▲ 3.4	▲ 3.5
11	766	▲ 2.0	▲ 23.2	▲ 9.5	▲ 9.3	▲ 1.3	▲ 17.8	299.9	0.0	▲ 2.3
12	858	▲ 22.1	▲ 50.2	▲ 0.2	3.8	▲ 7.7	▲ 8.5	288.7	0.0	▲ 1.1
2025 1	522	▲ 32.0	141.4	2.6	5.5	▲ 1.6	▲ 4.9	290.5	0.0	0.0
2	605	▲ 5.5	10.2	▲ 3.1	▲ 6.2	▲ 1.8	▲ 13.1	289.7	0.0	0.0
3	1,155	81.0	▲ 46.4	11.5	1.5	3.6	▲ 5.2	297.7	0.0	0.0
4	1,034	21.4	▲ 46.3	5.5	7.7	25.7	▲ 4.0	295.4	▲ 3.4	▲ 1.1
5	406	▲ 49.5	▲ 37.0	1.1	▲ 2.5	▲ 11.9	▲ 8.5	291.4	▲ 10.3	▲ 4.6
6	644	▲ 33.1	▲ 46.4	6.8	7.1	▲ 12.8	5.3	280.3	▲ 6.9	▲ 6.9
7	781	▲ 18.2	▲ 43.3	▲ 8.1	▲ 10.9	▲ 13.9	▲ 1.2	254.8	▲ 10.3	▲ 9.2
8	—	—	▲ 73.2	▲ 6.4	▲ 7.8	5.1	8.7	254.9	▲ 10.3	▲ 9.2
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均＝100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	63.0	3.3
2024	9,661.5	17.3	2,125.5	115.4	68.7	59.8	24.5	9.3	16.0	▲ 4.9
2024 7	912.0	17.1	219.7	90.7	70.5	65.9	26.6	4.0	5.6	▲ 5.8
8	1,003.8	37.8	235.0	143.8	72.7	62.6	39.5	9.6	43.0	17.8
9	831.0	17.0	196.2	84.1	70.3	62.1	35.4	11.4	21.0	▲ 13.3
10	886.7	12.5	192.3	66.6	76.2	69.7	30.2	8.1	9.6	▲ 11.0
11	810.8	17.8	174.0	91.0	77.5	63.4	33.2	11.0	7.1	▲ 6.5
12	809.5	21.4	197.2	107.1	73.0	53.7	20.9	15.5	20.3	1.1
2025 1	783.4	24.5	216.6	79.9	71.3	54.8	28.4	26.2	25.4	▲ 0.7
2	781.3	8.6	175.1	20.9	78.9	63.6	15.8	7.1	14.6	▲ 4.4
3	912.4	8.0	197.0	20.0	76.3	60.9	21.6	7.1	13.9	P▲6.2
4	865.8	15.1	267.3	68.2	73.5	63.9	19.1	8.8	16.8	P▲1.2
5	842.7	18.6	241.7	62.3	69.0	55.5	31.4	9.5	18.1	P▲4.9
6	838.9	12.2	239.5	40.6	71.9	59.1	9.2	▲2.6	15.2	P9.7
7	947.8	3.5	243.6	9.2	72.5	68.1	9.8	0.3	6.4	P▲4.2
8	1,075.0	7.1	291.6	24.1	75.6	71.1	13.5	4.1	3.9	P▲0.5
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	広告 収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2024	54	5,479	61.2	3.3	3.2	1.2	1.13	▲ 4.2	▲ 0.2
2024 7	4	1,099	647.6	3.1	3.2	2.0	1.11	▲ 5.1	▲ 2.9
8	4	201	905.0	3.0	2.8	3.7	1.12	4.7	▲ 0.7
9	1	56	▲ 92.7	3.3	3.4	1.4	1.12	▲ 9.7	▲ 1.6
10	5	537	168.5	3.0	3.4	▲ 1.3	1.14	▲ 4.5	4.0
11	4	287	20.1	3.6	3.2	1.0	1.12	▲ 4.0	2.5
12	7	491	346.4	4.5	3.1	1.9	1.11	▲ 5.0	▲ 3.7
2025 1	6	336	▲ 19.2	4.8	2.7	0.6	1.09	▲ 3.3	0.7
2	2	98	▲ 37.6	4.5	2.1	0.4	1.08	▲ 10.0	3.6
3	5	316	179.6	4.6	3.1	0.4	1.08	▲ 10.2	3.1
4	10	535	184.6	4.1	3.9	0.7	1.10	1.9	▲ 2.5
5	2	280	409.1	3.8	3.0	1.7	1.09	▲ 6.0	▲ 1.0
6	6	653	▲ 65.2	4.0	3.0	0.4	1.12	▲ 5.7	3.0
7	8	891	▲ 18.9	3.2	2.9	▲ 0.5	1.12	▲ 4.5	5.5
8	2	200	▲ 0.5	3.0	-	-	-	-	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		りゅうぎん 総研調べ

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2024年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
年度	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	4,025	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2024FY	3,259	5,033	▲ 1,775	1.420	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
2024 7	659	527	132	1.314	63,442	1.8	62,633	1.7	43,166	3.7
8	279	584	▲ 305	1.311	63,652	2.2	62,812	2.1	43,433	4.5
9	201	381	▲ 179	1.316	63,344	1.8	62,606	1.8	43,566	4.2
10	242	492	▲ 250	1.373	62,937	1.7	62,115	1.5	43,558	4.6
11	208	362	▲ 154	1.374	63,526	2.4	62,719	2.4	43,885	5.1
12	476	211	265	1.420	63,599	2.6	62,829	2.7	43,933	4.0
2025 1	161	589	▲ 427	1.423	62,709	1.7	61,867	1.6	44,059	4.3
2	217	385	▲ 168	1.420	62,619	1.7	61,886	1.8	44,573	5.1
3	252	390	▲ 137	1.487	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
4	250	333	▲ 82	1.531	64,184	1.3	63,446	1.3	44,886	5.3
5	191	668	▲ 476	1.537	64,061	1.5	63,253	1.5	44,954	5.3
6	236	396	▲ 160	1.599	64,224	1.0	63,507	1.1	45,091	5.2
7	249	423	▲ 174	1.605	63,834	0.6	62,974	0.5	45,113	4.5
8	-	-	-	-	-	-	63,391	0.9	45,357	4.4
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
年度	億円	前年比	億円	前年比	2020年=100	前年比	百万円	百万円
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	52,671	288,310
2024FY	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	-	-	41,614	304,121
2024 7	9,905	▲ 5.4	2,831	▲ 4.7	75.5	7.2	3,042	55,228
8	9,877	▲ 4.0	2,810	▲ 5.2	70.9	3.1	2,076	38,014
9	9,811	▲ 4.2	2,792	▲ 5.7	71.3	▲ 9.4	1,810	12,758
10	9,678	▲ 6.2	2,788	▲ 5.6	74.0	1.5	2,062	14,711
11	9,631	▲ 6.4	2,778	▲ 6.0	69.8	▲ 9.4	1,968	24,723
12	9,600	▲ 6.3	2,761	▲ 6.3	92.8	▲ 0.9	2,040	45,032
2025 1	9,567	▲ 6.2	2,747	▲ 6.4	92.7	▲ 12.7	1,915	22,405
2	9,512	▲ 6.8	2,717	▲ 7.1	80.5	▲ 13.9	11,433	22,700
3	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	91.1	0.4	2,631	17,269
4	9,768	▲ 3.7	2,660	▲ 7.7	91.1	4.6	1,975	21,291
5	9,725	▲ 3.5	2,636	▲ 7.7	90.9	▲ 0.7	1,841	37,615
6	9,674	▲ 3.4	2,618	▲ 7.9	91.1	0.1	5,718	60,742
7	9,587	▲ 3.2	2,596	▲ 8.3	-	-	3,056	24,731
8	9,566	▲ 3.1	2,585	▲ 8.0	-	-	1,703	15,200
出所	沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2024年11月より2020年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。